音楽科学習指導案

実施日　　平成２２年６月９日
実施学級　　１ 年 ２ 組
授業者　　関谷　由美子

１　指導単元

曲想を感じ取って歌おう　　同声二部合唱「太陽がくれた季節」
（山川啓介　作詞、　いずみ　たく作曲）

２　単元設定の理由

この曲は、かつてテレビで放映された青春ドラマの主題歌として使われ、若者中心に広まっていった曲である。構成は、ニ短調、４分の４拍子、速めのテンポで、力強く弾むような特徴のあるリズムの前奏から始まる。前半は、短いフレーズや跳躍音程で表わされる躍動感のある主旋律に「問いかける」内容の歌詞、後半は、冒頭の主旋律が二部のかけ合いとなり、歌詞も「誘い」の内容になる。各声部の音域は、ソプラノが１点ハ～２点変ホとやや広いのに対し、アルトは１点ハ～１点変ロまでなので、個々の声域に合わせた声部を選択することで、同声二部合唱を楽しむことができる。また、運動会を終え、団結による感動を体験した生徒にとっては、仲間を意識したこの時期だからこそ、共感しながら取り組むことができる。

３　単元の指導目標　新学習指導要領…Ａ表現（１）

・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。
・曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。
・声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。

４　単元の指導計画（２時間扱い）

第１時　範唱を聴くことで全体の響きを確認する。ソプラノ・パートの音を聴き、主旋律の歌詞唱をする。曲の構成を理解し、アルト・パートの音の歌詞唱をする。
第２時　歌詞の内容を理解し、曲にふさわしい歌唱表現で、声の響き合いを感じ取りながら同声二部合唱をする。

５　単元の評価

（１）Ｂ評価：歌詞の内容や曲想を感じ取って、表現を工夫できたか。
（２）支援を必要とする生徒（Ｃ評価）への手だて：姿勢については、全体指導の中の個別チェックで助言し、歌唱については、自分に合ったパートを適切に選択できるよう、何回かの練習後に生徒同士で聞き合い、パート選択をさせる。

６　授業改善のポイント

（１）曲の構成は、説明より、音を聞いて気づかせることで、主体的に取り組めるようにする。
（２）生徒同士、声を聞き合うことでパート選択をし、学び合いができるようにする。
（３）歌詞の内容を理解し、イメージをふくらませて歌唱表現することで、言葉と音楽との関わりを感受できるようにする。

７　本時の授業（２時間目）

（１）本時のねらい　　歌詞の内容や曲想、全体の響きを感じ取って歌唱表現を工夫する。
（２）本時の展開

	学　習　内　容	教師の働きかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点（評価）
導入 １５分	・「春」の冒頭のアルトリコーダーテスト	・授業前にアルトリコーダーを組み立てておく。 ・止まらない、吹きなおさない。	・他の生徒の音を集中して聞く。 ・音に合わせて指を動かす。	・吹く姿勢はよいか。運指は正しくできているか。 （表現の技能）
	・発声練習	・その場で立たせる。 ・姿勢…手は横、首はまっすぐ、ひざはのばす。目は、前を、遠くを見る。	・手が机等に触れている生徒、顔が下を向く生徒、片足に重心をかけている。	・意欲的に、歌声を作る姿勢、発声をしているか。 （関心・意欲・態度）

展開 ２５分	・「太陽がくれた季節」のソプラノパートの歌詞唱 ・アルトパートの歌詞唱 ・歌詞の内容の確認 ・パート選択のための音域の確認 ・パート毎の音の確認	・跳躍音程の高音の響かせ方に注意させる。 ・中音域から低音域の音が多いので地声を張り上げないように注意する。 ・曲についての説明をする。 ・歌詞の意味を考え、「問いかけ」と「誘い」の場所を確認する。 ・２～３人組で聞き合わさせる。 ・パート毎の席に移動し、交互に立って歌わせる。	・跳躍音程の響きのコントロールがうまくできない。 ・明るく元気に歌おうとして、ついのどに力が入りやすい。 ・模造紙の縦書きの歌詞を見る。 ・マグネットの「？」と「！」を入れる場所を列毎に話し合う。 ・ピアノの音に合わせて声を出し合い、聞き合う。 ・選択したパートなので、のびのびと歌う。	・のどや口の開け方に気づいて響きのある声で歌っているか。（表現の技能） ・曲の背景、歌詞の内容に関心をもっているか。（関心・意欲・態度） ・意欲的に、声を出し合い、聞き合っているか。（関心・意欲・態度） ・表現の工夫をしながら、のびやかに歌うことができたか。（音楽的な感受や表現の工夫）
まとめ 10分	・同声二部合唱	・フレーズ、ブレス等に気をつけて、明るく響きのある声で歌わせる。	・声の響き合いを感じ取りながら表現の工夫をして歌う。	・歌詞の内容や曲想を感じ取り、全体の響きを感じながら表現を工夫しているか。（音楽的な感受や表現の工夫）

8　本時の板書計画　（模造紙による歌詞の掲示）

太陽がくれた季節

一、きみは何を今
見つめているの
若い悲しみに
ぬれたひとみで
逃げて行く白い鳩
それとも愛
きみも今日からは
僕らの仲間
飛び出そう
青空の下へ

二、きみは何を今
待ち続けるの
街の片隅で
ひざをかかえて
届かないあの手紙
別れた夢
きみも今日からは
僕らの仲間
飛び込もう
青春の海へ

青春は
太陽がくれた季節
きみも今日からは
僕らの仲間
燃やそうよ
二度とない日々を

9　授業を終えて

この単元は２時間で同声二部合唱を仕上げる計画であったが、始めて間もないアルトリコーダーの学習を継続して行うために、短時間で行うパーフェクトテストを導入部分で入れた。前単元の鑑賞曲「春」のリコーダー中心のアンサンブル譜を２小節程度ずつ行うもので、曲の冒頭部分は１点ハから１点トまでで吹けるので、短時間の運指練習には効果的であった。

第１時で行った構成の理解は、休符について、主旋律とアルトパートの関係について目を向け、曲の特徴に気づかせた。第２時で行った歌詞の理解は、模造紙に書かれた縦書きの歌詞の中の、「問い」と「誘い」を識別するため、「？」と「！」のマグネットをつける方法を試みたが、生徒は興味をもって考え、楽しそうに参加していた。パート選択のための、生徒同士の声の聞き合いは、楽しそうに声を出していたが、もう少し時間をかけられたら、更に意見を出しやすくなったと思われる。しかし、その後のパート選択では、音域を考えて自主的にアルトパートを希望する生徒や、好みからパート選択する生徒が出て、希望で二部に分けることができ、合唱まで仕上げることができた。この後、男子は変声期を迎えるが、今の合唱を楽しむ気持ちを大切に育てていきたい。